

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		定住化促進事業				
	担当課・係名		企画情報課 企画調整係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	02 総務費		中分類	05 定住の場の整備推進 (重)	
		項	01 総務管理費		小分類	01 定住の場の整備推進 (重)	
目		10 地域活性化対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		18,750	18,724	3,100	3,100	1,596
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	18,750	18,724	3,100	3,100	1,596
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
町内外の住民							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
定住人口の増加と活性化							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> 定住促進住宅取得等補助事業 (平成28年度～) 三世代同居等支援事業 (平成28年度～) 							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
定住促進住宅取得等補助金交付要綱、三世代同居等支援事業補助金交付要綱							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	補助金交付件数	単位 : 件	実績値	4	14	3	
			目標値	0	0	0	
定義 定住促進住宅取得等補助金、三世代同居等支援事業補助金の交付件数							
B		単位 :	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位 :	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位 :	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	3
評価の説明 点数 11	現在は定住促進住宅取得等補助金、三世帯同居等支援事業補助金ともに町内事業者が施工していることが条件となっているが、町内事業者が限られている現状では、この条項のためにニーズに即しきれていない側面がある。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 15	定住人口の増加と地域の活性化には有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	経費は交付金のみであるため最低限である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	「あたごふれ愛タウン」の分譲が終了し、定住促進住宅取得等補助金の要求は頭打ちになるため、今後、空き屋対策に絡めた制度の検討が必要となる。

⑪	課長総括評価	移住定住策を推進するためには、地域活性化住宅の入居要件や定住促進住宅取得等補助金の要件緩和等の検討が必要である。 やまびこ住宅、あたご住宅では、空き部屋が出始めていることから、地域活性化住宅事業等の子育て支援策に企業と連携した労働環境とのマッチングによる移住定住策の推進を検討する。
	合計点	42
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		無料職業紹介事業				
	担当課・係名		町民生活課 住民年金係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	05 労働費		中分類	05 定住の場の整備推進 (重)	
		項	01 労働諸費		小分類	01 定住の場の整備推進 (重)	
目		01 労働諸費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		50	4	50	16	50
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	50	4	50	16	50
※H27・H28予算は最終予算額。H29は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
求職者である町民。							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
求職者の相談に応じ、求人企業とのマッチングを図り、多くの求職者を求人企業に対し紹介し、採用件数の増加を図る。							
⑤	事業概要						
町内に居住している人や将来居住を希望する求職者に対しての仕事の斡旋。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
国においては、経済対策の最優先事業として雇用をあげており、併せて国の緊急雇用対策事業 (県において基金を創設) により、本町においても直接雇用、委託雇用により一時的な雇用確保対策を実施しているが、抜本的な雇用創出には至っていない状況にある。							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
職業安定法・色麻町無料職業紹介事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	職業紹介所に登録した求職者数	単位: 件	実績値	44	28	23	
			目標値	0	30	25	
定義	企業に対する紹介所登録者の紹介件数						
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	職業紹介所の登録者の採用者数	単位: 人	実績値	13	17	4	
			目標値	0	10	8	
定義	企業に対する紹介所登録者照会後の採用者数						
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 11	町内失業者やUターン者に対して職を斡旋することは定住化と生活の安定に寄与する。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	地道な事業ではあるが、将来的に有効な事業といえる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	無料職業紹介事業であり、経費は職員人件費のみであることから最低限の経費であるが、さらなるハローワークとの求人情報についての連携が必要である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	登録者数は減少傾向にあることから、紹介者数及び採用者数のさらなる増加を目指す。

⑪	課長総括評価 合計点 38	求人情報と求職者のミスマッチがあり難しい面もあるが、さらなる紹介者の増加をめざす。
	今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		町営住宅管理事業				
	担当課・係名		建設水道課 管理係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	08 土木費		中分類	05 定住の場の整備推進 (重)	
		項	04 住宅費		小分類	01 定住の場の整備推進 (重)	
目		01 住宅管理費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		50,773	50,323	50,842	50,516	47,275
	財源 内訳	国県支出金	0	0	1,398	1,398	0
		その他特定財源	40,129	37,700	42,463	43,788	40,775
		一般財源	10,644	12,623	6,981	5,330	6,500
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
町営住宅、地域活性化住宅							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
空室の割合を下げ財政の健全化を図る。							
⑤	事業概要						
町営住宅の維持管理 二反田住宅 (3棟) 72戸 上ノ原住宅18戸 花川住宅20戸 地域活性化住宅の維持管理 やまびこ住宅30戸 あたご住宅20戸							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
町営住宅(二反田住宅、上の原住宅)の老朽化が進んでいる。							
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
公営住宅法 色麻町営住宅管理条例、地域活性化住宅条例、地域活性化住宅管理規則							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	入居状況	単位: %	実績値	97	93	92	
			目標値	100	100	100	
定義 町営住宅及び地域活性化住宅の入居状況							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
A	入居状況	単位: %	実績値	97	93	92	
			目標値	100	100	100	
定義 町営住宅及び地域活性化住宅の入居状況							
B		単位:	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 13	管理戸数も160戸と少ないため外部機関への委託は必要ではない。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	空き戸数があるが、住民困窮者のニーズは高く有効である。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	入居者から住宅使用料を徴収して事業を行っている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	地域活性化住宅において空き戸数が目立つ状況となっているが積和不動産と連携し広報を行い入居促進の成果が出始めている。

⑪	課長総括評価	二反田住宅（34年～39年経過）や上の原住宅（26年経過）は、外壁・屋上等外側の改修は終わったが、内側については退去時の修繕のみであり、特に二反田住宅については、給水管と水回り（台所、浴室、トイレ）の老朽化が深刻である。このため、早急な対策が必要である。
	合計点	41
	今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価	
	今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		結婚相談事業				
	担当課・係名		公民館 総務係・指導係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	05 安心して暮らすチカラ	
		款	10 教育費		中分類	05 定住の場の整備推進（重）	
項		05 社会教育費	小分類		01 定住の場の整備推進（重）		
	目	02 公民館費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,010	1,922	2,010	1,989	2,010
	財源 内訳	国県支出金	960	961	741	741	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,050	961	1,269	1,248	2,010
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
一般町民（20歳以上の独身男女）							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
少子高齢化にともない、人口減少に歯止めをかけることが各自治体の債務となっている今日、本町においても未婚の男女を対象に結婚支援を行うことにより、人口増加政策の一助となることを目的とする。							
⑤	事業概要						
① 結婚相談所の開設 ② 結婚支援専門員の配置 ③ 相談所への登録推進 ④ 登録者への引き合わせの実施 ⑤ セミナーの開催 ⑥ イベントの実施							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
現時点で、3年目であるため、状況の変化はないと思われる。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町結婚支援事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	セミナー開催回数	単位：回	実績値	0	2	2	
			目標値	2	2	2	
定義	各種セミナーの開催回数。						
B	イベント開催回数	単位：回	実績値	0	2	2	
			目標値	0	0	0	
定義	各種イベント開催回数。						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	成婚件数	単位：	実績値	0	0	1	
			目標値	0	0	0	
定義	登録者の成婚数						
B		単位：	実績値	0	0		
			目標値	0	0		
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	2
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 日本の自治体（1579）のうち、59%にあたる930以上の自治体で支援事業を行っている。本町でも町が行う事業として位置づけている。但し、適切な方法かは、民間委託も含め検討していく。	
点数	10
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 人口減少を抑制する事業としては最も有効である。	
点数	15
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	2
ウ 受益者負担は適正である	2
評価の説明 支援事業の主なものは、専門員に対する報酬である。それ以外は、イベントチラシ用紙代、専門員専用の携帯電話代等である。	
点数	7
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	2
評価の説明 成婚1	
点数	2

⑪	課長総括評価 この事業は、実施したからといってすぐに成果が現れないので、今後も継続し、支援をおこなって行く。 なお、外部委託も含めて検討すべき時期にきている。
合計点	34
今後の方向性	改善の上継続

⑫	二次評価
今後の方向性	